

平成25年産麦の放射性物質検査結果について（第2報）

宮城県内で採取した麦について、放射性物質の検査結果がでましたのでお知らせします。

1 検査年月日

平成25年7月22日

2 分析機関

分析機関 一般財団法人材料科学技術振興財団
分析機器 ゲルマニウム半導体検出器

3 検査結果

測定した3点すべてにおいて、食品衛生法の規定に基づく放射性物質の基準値（100ベクレル/kg）を下回り、安全性に問題がないことが確認されました。この結果をもって、下記のとおり販売が可能となります。なお、結果の詳細は、裏面のとおりです。

市町村名	品目
大和町	六条大麦
大和町	小麦

【参考】

1 麦の放射性物質調査に関する基本的な考え方

麦類は、ほぼ全量を農協等が集荷し実需者等に販売しているため、ロットで管理することが可能である。販売前にロット単位で放射性物質検査を実施することにより、基準値（100ベクレル/kg）を超過する麦類の流通を防止する。

宮城県は平成24年産の検査で、50ベクレル/Kgを超えるものが検出されなかったため、原子力災害対策本部の「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」（平成25年3月19日）に基づき、地域区分ごとに最初のロットを検査し、結果が一定の水準（50ベクレル/Kg）を超過した場合には、当該地域において全ロット検査を実施する。

地域区分は、原則として市町村単位とするが、各農協のカントリーエレベータごと、倉庫ごと、平成24年産の検査実績等を勘案して設定する。

放射性セシウム濃度が基準値100ベクレル/kgを超えた場合は、当該ロットで出荷制限となる。

2 調査対象地域及び調査点数（計画）

調査点数 (計画)		調査済み点数（今回公表分含む）			
		うち不検出 (検出限界未満)	うち検出点数		
			100ベクレル/kg以下	100ベクレル/kg超	
大麦	27	5	5	0	0
小麦	41	2	2	0	0
合計	68	7	7	0	0

注1) 収穫量、農産物検査の結果により、計画点数は増減することがある。

調査対象 市町村数	調査済み 市町村数	調査未終了 市町村数
大麦	13	10
小麦	14	13

注2) 25年産麦類播種状況調査参考

【結果の詳細】

分析機関：一般財団法人材料科学技術振興財団

No.	市町村	検体分析 年月日	品目	品種	放射性セシウム濃度(Bq/kg)					
					Cs-134	(検出限界値)	Cs-137	(検出限界値)	計	(検出限界値)
1	大和町	7月22日	六条大麦	シュンライ	不検出	(4.83)	不検出	(6.39)	不検出	(11)
2	大和町	7月22日	小麦	シラネコムギ	不検出	(4.64)	不検出	(5.51)	不検出	(10)
3	大和町	7月22日	小麦	あおばの恋	不検出	(5.57)	不検出	(4.71)	不検出	(10)

※不検出とは、検出限界値未満であることを示す。括弧内の数値が検出限界値であり、測定毎に変動する。